

やながわ 10月1日

YANAGAWA 2013. No.205

今号の内容

- ◆特集・柳川の御花 2～5
- ◆市民健康まつり、よかもんまつり ほか 6～7
- ◆ふれあいわんぱーく開催 ほか 8～9
- ◆市長の高齢者訪問、敬老会 ほか 10～11
- ◆市民のひろば (12-13) ◆川柳 (13) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き (14-15) ◆情報わいど (16-23) ◆がんばったね (24) ◆柳川にこの人あり 梅崎流書さん (24) ◆もちふみデビュー (25) ◆保健ガイド (26-27) ◆新市史抄片 (28)



秋の夜空を大輪の花火彩る

第15回有明海花火フェスタが9月8日、市学童農園むつころうランドで行われました。同フェスタは当初8月25日の予定でしたが大雨や台風で延期に。開催を楽しみにしていた家族連れやカップルなど約8万人が、2尺玉やスカイナイアガラなど8000発の花火に大きな歓声を上げました。

新

市史抄片

103

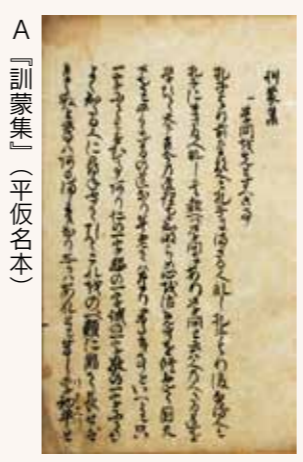
問い合わせ 市生涯学習課市史編さん係 ☎72・1275

省菴先生の教訓400カ条と文章

慶安2(1649)年28歳より5年間、京都の松永尺五のもとで儒学を学んだ安東省菴は、明暦2(1656)年35歳の折、柳川藩儒として召され、元禄4(1691)年70歳で隠居を許されるまでの36年間、藩儒の使命として、儒学者の立場から倦むことなく、恂恂と説き続けたその教訓は、400カ条に達っせんとするものであった。

そしてそれらの教訓を、省菴は3種の文章体を使い分けて書いていた。その1は学者向けの漢文体、その2は教養のある人たち向けの片仮名の文章、その3は一般庶民向けの平仮名の文章であった。

ところで、省菴には、教訓書が8点ある。



A 『訓蒙集』(平仮名本)

- C 『愚得集』 平仮名本、64条、寛文13(1673)年刊
- D 『理学要抄』 片仮名本、88条、成立年未詳
- E 『理学抄要』 片仮名本、68条、成立年未詳
- F 『初学問答』 平仮名本、56条、成立年未詳
- G 『孫子拔書和解』 片仮名本、12篇、成立年未詳
- H 『射法提要』 片仮名本、11条、成立年未詳

B 『訓蒙集』(片仮名本)

省菴は、藩士に対して、「文」「武」が揃っていないならばならないことを強調するが、AからF6点の360条は「文」についての教訓であり、GとHの23条は「武」についての教訓である。したがって、軍法および兵法についての教訓書GとHがあるのも当然のことであった。「文」についての教訓書のうち、平仮名本A、C、Fは、一般庶民に対するものであり、

同じく片仮名本B、D、Eは、教養のある人たち向けだったと考えられる。「武」の片仮名本GとHが藩士向けだったことはいうまでもないが、「文」の平仮名本Cが、京都の書肆より出版されていることは、やはり平仮名本が広く一般庶民向けだったことがわかるのである。

68歳で書いた平仮名書きの小品「子を教ゆるの詞」(9条)と、72歳の折の「五条訓」(5条)とがあるが、前者は、省菴が嫡子「守直」に与えた漢文体「元禄己巳正月諭守直文」(省菴先生遺集七)を和文体に和らげたものである。漢文は、「行住坐臥、問心曰、学問有懈乎」という形で、計9カ条の問いを自分の心に問えと教えたものである(全62文字)。和文では、「有懈乎」以下9カ条を順に挙げて、「一人の道は、親への孝、君への忠を第一とすれば云々」と平仮名の文章(約1300文字)に和らげたものである。学者を志す「守直」には漢文体を用い、一般の「子」には和文体の文章を用いるという使い分けが確認できると同時に、最晩年まで省菴が、相手に相応しい文章体を選んで、教訓を続けていたことが知られるのである。

市史編集委員 井上敏幸

編集後記

●ゆるぎやらグランプリが今年も始まった。我が柳川のこつぱりーも昨年に続き参戦。既に全国の自治体や企業から10000体近くがエントリーして、こつぱりーは現在1000位あたり。パソコンから毎日1票を投票しているが、何位になっているか、毎日気になりだした。(英一)

●9月中旬の台風18号は、大雨で各地に大きな災害の爪痕を残していた。川の氾濫で京都市の嵐山や、福知山市などの被害をテレビ報道で見したが、昨年の柳川で起きた水害を思い出した。毎年どこかで水害が起こっているように思う。来年はなにも起こらないことを祈るばかりだ。(賢治)

●有明海花火フェスタの取材のため自車でむつころうランドへ行った。これほどの距離を自車で移動するのは高校以来。筋肉痛を覚悟していたが、翌日も体に変化無し。運動不足とはいえ、まだ20代の体に自信を取り戻しかけたそのさらに翌日、恐れていた筋肉痛がやってきた。(和久)

平成25年8月末現在

人のうごき

- 人口 70,471人 (前月比 -78)
- 男 33,366人 (-17)
- 女 37,105人 (-61)
- 出生 50人、死亡 84人
- 転入 104人、転出 148人
- 世帯数 24,900世帯 (-15)